■ジーアンドエスエンジニアリング

国を守り国を創る未来の街づくりにチャレンジ

ジーアンドエスエンジニアリング（福岡市）は1973年に創業以来、九州や関東を営業地盤に、主に道路や橋梁（きょうりょう）、河川、上下水道など、暮らしを支える社会インフラの調査や官公庁から直接請け負う総合建設コンサルタントとして実績を重ねている。昨年には創立50周年を迎え、「第二の創業期」と位置付け、従来の枠組みに捉われない新たな技術へのチャレンジに意欲を燃やしている。

児玉 和久 社長

「第二の創業期」を迎えて新たな技術にチャレンジ

「国を守り国を創る～日本の幹となれ～」を合言葉として、夢のある豊かな社会の実現に貢献するという使命に基づき、子どもたちに誇れる未来の街づくりにチャレンジしているジーアンドエスエンジニアリング。同社は官庁や自治体の技術パートナーとして、打ち合わせから調査、企画、設計、管理、点検までを手掛けている。年間200件を超えるさまざまなプロジェクトを受注するなど、圧倒的な受注力と実績は、地場トップクラスを誇る。

昨年、創立50周年の節目を迎えたことを機に「第二の創業期」と位置付け、児玉和久社長は「建設コンサルタントの枠組みに捉われず、新しい技術にチャレンジすることで未来を切り拓く（ひらく）」との思いを新たにしている。

同社は過去にも、水害から都市を守る地下調整池（福岡市博多区、福岡県春日市）や、脱炭素社会に向けた移動式水素ステーション（福岡県庁）を計画したほか、鉄道駅の空中回廊の計画設計（JR小倉駅、城野駅）など、建設コンサルタントの枠組みを超えたプロジェクトに参画、時代変化に対応する新しい街づくりの先導役を担ってきた。

圧倒的な受注力と実績は、福岡県・関東地区で高い評価を受けており、東京都建設局・各事務所からは「優良工事等表彰」の10年連続受賞（2012～21年度）している。23年度は東京都建設局から「石神井川整備工事（扇橋―集い橋）に伴う詳細設計（2―1）」で優良工事等表彰を受けた。22年度に完了した工事31件と業務5件が選定され、受賞企業と技術者に表彰状が贈呈された。

立体交差の博多バイパス「予備設計業務」を受注

建設コンサルとして主軸の仕事も健在だ。同社は、23年度「博多バイパス（空港口工区）橋梁予備設計業務」を受注した。国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）は、平面6車線に車両が集中し、慢性的な渋滞が発生しているが、高架4車線、平面4車線の合計8車線に変わることで、交通機能の分散と渋滞緩和を実現するとともに、物流や救急搬送の速達性向上も期待されている。総事業費は約360億円。

立体化事業の対象区間は、下臼井交差点付近（東区二又瀬新町）～空港口交差点付近（博多区榎田）の延長約1・6キロで、22年に都市計画が決定した。児玉社長は「空港周辺全体の交通円滑化に貢献することができる一大プロジェクトと認識している。当社の技術力をフル活用し、全社的なレベル感をもう一段引き上げることができるような戦略的な仕事として取り組みたい」と意欲を燃やす。同社にとってもチャレンジングなプロジェクトとなっている。

博多バイパス（空港口工区）の立体交差のパース

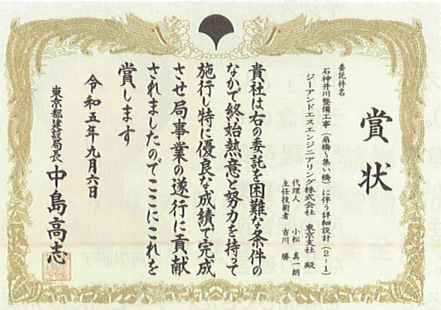
賃上げの流れを受け先手 専門人材確保と育成注力

同社が近年注力しているのが、次世代を担う若手人材の採用。毎年、10人程度の新規採用を行っているが、「土木設計希望者は土木・建築系の学生のみと思われがちだが、理系の学生であれば歓迎している」（児玉社長）として、入社後に技術者として丁寧に育てていくことを信条としている。同社では、入社1～3年の若手技術者を対象に、携わった業務内容について発表する場を設けるなど、入社後の教育環境の整備にも努めている。さらに、働き方改革にも対応するため、仕事はなるべくチームで進める方針をとっており、上司と一緒になってチームワーク重視にシフトしている。

また、近年は国内の賃上げの流れが加速しているが、対応が難しい中小企業も少なくない。同社では、来春の新卒者の給与を大幅に引き上げ、優良な人材確保にも努めている。例えば技術職で大卒は月給27万円、大学院卒は同28万円、高卒で同22万円、営業職（大卒）は同26万円、事務職（大卒）は同24万円となっている。これは同社の強固な営業基盤と収益力があるからこそ実現できたもので「従来どおり、さまざまな形での採用活動は続けていくが、これに加速をつける意味でも思い切って決断した」（同社長）としている。

さらに、近年、技術系の学生が著しく減少傾向にあり、将来、日本の技術力を維持していけるのか危機感を募らせている。児玉社長は「常に新たな技術を求めていくような人材を確保して技術者の育成に努めていくことは、建設コンサル業界としても重要な課題だ」と話し、「九州でも災害が頻発しており、その意味でも九州の地元に密着した技術者を育てることは当社の使命の一つ」としている。

同社では技術士や技術士補、総合技術監理、RCCM、1級、2級土木施工管理技士、測量士、測量士補、2級建築士、道路橋点検士、農業水利施設機能総合診断士などの多彩な資格を持った社員が在籍しており、ドローン操縦なども含め、複数の資格取得を後押ししている。建設コンサル業界では珍しいスペシャリストではなく、1人で複数の業務ができる能力を持った万能型の専門人材の育成に取り組んでおり、最先端のDX導入と併せ、総合力で時代変化に対応した街づくりに貢献していく。


賞状

表彰対象
石神井川整備工事（扇橋～集い橋）に伴う詳細設計（2－1）
ジーアンドエスエンジニアリング株式会社 東京支社 殿
代理人 小松 真一朗
主任技術者 吉川 勝

貴社は右の委託を困難な条件のなかで終始熱意と努力を持って施行し特に優良な成績で完成させ局事業の遂行に貢献されましたのでここにこれを賞します

令和五年九月六日
東京都建設局長 中島高志

東京都建設局の23年度優良工事表彰

ドローンをはじめとする資格取得も積極的に後押ししている